

| | |
|-------|--|
| 建学の精神 | 自然豊かな環境の中で、誠実にして、豊かな情操をもち、しかも実力ある人を育てる |
|-------|--|

| 学校教育目標 | 本年度の重点目標 |
|--|--|
| 1. 不登校生徒や進路変更した生徒を支援し、生徒の登校状況や発達段階に対応したきめ細やかな教育を受けることにより、自発的に将来を見つめ、卒業後の進路を発見できる学校 2. 南木曾町が誇る様々な伝統技能体験、妻籠宿の町並み、様々な文化財から信州学を学び、理解し、それらを大切にしている心情を育む教育ができる学校 3. 南木曾町ならではの豊かな自然環境に触れ合い、ブッシュクラフト(アウトドア・防災技術)を学ぶことで自然を体感し、共生できる力を育む教育ができる学校 4. キャリア教育につながるコンピュータ・調理・ファッションに関わる技術習得や資格取得を、助手として兼任する専門学校教員が実習指導することで技術教育を学ぶことができる学校 5. 等身大投影(AR技術)による双方向遠隔授業を取り入れ、本校と各サテライト校を結ぶことで、面接指導と同等な学習環境を常に提供できる学校 | 1. 学校組織と学校運営の円滑な実施と、生徒の状況に応じた施設設備の整備拡充を推進する。 2. 長野・岐阜・愛知を基盤とした通信制高校として、広報活動に努め一層の認知度を高める取り組みに力を注ぎ、さまざまな面での地域連携を進める。 3. 在学生と新入生に適切な指導に努め、生徒一人ひとりを大切にしている面倒見の良い教育の実践を推進する。 4. 山本学園高等課程との技能連携に伴う生徒増等の諸課題に対し、効果的かつ円滑な運営をすすめる。 |

評価基準 : A…ほぼ達成 B…概ね達成 C…やや不十分 D…不十分

| 対象 | 評価項目 | 評価の観点 | 成果と課題 | 評価 | 次年度への改善策 |
|---------|------------------------------|---|-------|----|----------|
| 学習指導 | ① 基礎基本学習の定着及びマナーの教授 | <ul style="list-style-type: none"> 各教科指導において、生徒の理解を進めるため、授業やレポートを検討工夫し、基礎・基本を定着することができたか。 生徒の向学心を育成し、基本的な生活マナーを向上できたか。 | | | |
| | ② 「面倒見の良さ」の実現 | <ul style="list-style-type: none"> スクーリングにおいて、生徒の実態に基づいた学習資料や指導方法の改善を図り、「わかる授業」「できる授業」になるよう工夫したか。 生徒自らが主体的に学習に取り組むよう、授業とレポート学習の計画的な支援を展開することができたか。 | | | |
| | ③ 生徒の実情に合わせた学習支援とAR授業および職員研修 | <ul style="list-style-type: none"> 法定回数以上の面接授業を実施し、AR授業や多様なメディアを活用したわかりやすい授業ができたか。 適切なレポート問題の作成およびいねいな添削指導ができたか。 学習理解度を上げるため、スクーリング以外での補習授業や学習支援ができたか。 AR授業充実に向けて、必要な職員研修が実施できたか。 | | | |
| | ④ 単位認定までの学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 科目担当者は学習評価、補習授業や学習支援の適切な指導ができたか。 出欠管理やレポート提出の確実な管理が適切にできたか。 各校の担当は学習環境を整え、生徒への助言及び保護者への適切な連絡ができたか。 | | | |
| | 本年度の改善策に関わって | <ul style="list-style-type: none"> 講座「基礎教養」は生徒の基礎学力向上に有効だったか。 生徒の学習理解を高めるために、サブプリント等を作成できたか。 観点別評価に基づいたレポート作成およびスクーリングができたか。 スクーリングを安易に休まないようにする指導できたか。 出席管理に関するシステム化を図ることができたか。 | | | |
| 生徒指導 | ① 生徒適性に合わせ、社会人基礎力とマナーを高める指導 | <ul style="list-style-type: none"> 社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を涵養育成できたか。 総合的探究の時間や特別活動を活用し、生徒に社会進出を見据えた社会人基礎力や進路意識をもたせることができたか。 | | | |
| | ② 登校型学習指導の推進と登校が難しい生徒への支援 | <ul style="list-style-type: none"> スクーリング回数は全て受講するように促すことができたか。 通信機器等を使用した効果的な遠隔学習支援を行うことができたか。 スクーリング補充期間を活用して、単位修得指導ができたか。 | | | |
| | ③ 家庭保護者との連携と支援 | <ul style="list-style-type: none"> e-pa(メール連絡網)の効果的な活用により、生徒状況の的確な把握と、保護者との適切な連絡が取れているか。 計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活を送れるように支援しているか。 | | | |
| | 本年度の改善策に関わって | <ul style="list-style-type: none"> 生徒に社会適応力を育むための指導が工夫できた。 定期的に生徒の個別指導の時間を設けた。 | | | |
| 進路・保健指導 | ① 進路指導とキャリア教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々の進路目標実現に向けて適切な支援と助言ができたか。 ハローワークなどの外部組織と連携した進路指導ができたか。 生徒の進路選択の助けとなる、キャリアパスポートを活用したキャリア教育ができたか。 | | | |
| | ② 技能連携教育の準備と推進 | <ul style="list-style-type: none"> 技能連携教育の円滑な運営と実施ができたか。 技能連携についての生徒と保護者への理解と協力を進めることができたか。 | | | |
| | ③ 健康の保持増進及び新型コロナウイルスへの対応 | <ul style="list-style-type: none"> 養護教諭やスクールカウンセラーと連携し、生徒の心と体の安定を図ることができたか。 適切で効果的な新型コロナウイルス感染症対策ができたか。 | | | |
| | 本年度の改善策に関わって | <ul style="list-style-type: none"> 職員間で情報を共有し、個々の生徒に応じた進路指導ができた。 外部機関と連携し、卒業予定者についての具体的な相談ができた。 技能連携の協議の場を定期的に設定し、書類による依頼ができた。 | | | |
| 安全管理・指導 | ① 校舎・生徒の安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の点検をおこない安全管理に努めることができたか。 生徒の登下校および災害時の休校等の対応は的確だったか。 | | | |
| | ② 生徒の安全教育 | <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練等、安全教育を計画的に進めることができた。 | | | |
| 学校運営 | ① 学校組織と学校運営の確立と充実 | <ul style="list-style-type: none"> 職員組織の整備と各種規定規則の改訂を適切に行い、学校運営の改善が進められたか。 生徒募集の一層の推進のため、学校説明会や広報活動を効果的に実施できたか。 入学者、転編入学者に対し、本人保護者、及び前籍校への適切な対応および連携ができたか。 | | | |
| | ② 通信制高校としての施設設備の拡充整備 | <ul style="list-style-type: none"> 施設設備の充実拡充・補修に努めることができたか。 生徒数増に対応し、適切な施設運営と環境整備を進めることができたか。 | | | |
| | ③ 広報活動と情報発信および地域との連携 | <ul style="list-style-type: none"> 各校において様々なメディアを通じた十分かつ効果的な広報活動を行い、認知度を高めることができたか。 中学校および高校訪問を適切に実施し、成果を上げることができたか。 地域に開かれた学校の実現のために、各校で地域連携を積極的に進めることができたか。 | | | |
| | 本年度の改善策に関わって | <ul style="list-style-type: none"> 各校間での共通理解および行動を確かにする協議の在り方を工夫する。 校務分掌の大幅な改定を行い、適材適所の配置を行う。 特別活動に、安全教育を位置づける。業者による耐震点検を行う。 渉外、広報の内容や工夫を充実させる。 | | | |